

(様式 1－3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 30 年 12 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

N.O.	151	事業名	平田地区排水施設整備事業	事業番号	◆D-17-13-1
交付団体	市		事業実施主体（直接/間接）	市	
総交付対象事業費	382, 000 (千円)		全体事業費	707, 000 (千円)	
事業概要					
東日本大震災により被災した平田地区において、土地区画整理事業等とあわせて汚水管整備を実施し、汚水処理の適正化を図る。（汚水管路延長 L=5.4km・326,773 千円）					
復興まちづくり基本計画					
P59 基本目標③ 生活の安心が確保されたまちづくり (4) 公共施設や生活インフラの再建					
※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 26～28 年度> 管路実施設計 N=1 式 汚水管整備等 L=1,805m 事業費 109,598 千円					
<平成 29 年度> 汚水管整備 L=3,268m マンホール ^{ンボ} N=1 箇所 事業費 193,455 千円					
<平成 30 年度> 汚水管整備 L=77.0m マンホール ^{ンボ} N=1 箇所 事業費 23,720 千円					
<平成 31 年度> 汚水管整備 L=250m					
東日本大震災の被害との関係 平田地区は東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けたことから、土地区画整理事業等にて新たな街づくりを行いますが、これと同時に下水道整備も行うものである。					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-17-13
事業名	都市再生区画整理事業（被災市街地復興土地区画整理事業）（平田）
交付団体	市
基幹事業との関連性	
主に同地区で実施する都市再生区画整理事業の区域内での実施	

(様式 1－3)

釜石市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 30 年 12 月時点

※本様式は 1－2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	156	事業名	消防水利整備事業（平田）	事業番号	◆D-17-13-2
交付団体	市	事業実施主体（直接/間接）	市（直接）		
総交付対象事業費	23,400（千円）	全体事業費	23,400（千円）		

事業概要

●対象地区の事業概要

東日本大震災による津波によって広大かつ甚大な被害を受けた平田地区の既成市街地において、都市基盤の整備と併せて街区の再編を行う土地区画整理事業の実施により、土地の有効利用を促進するとともに、安全・安心で快適に暮らすことができ、活力ある経済活動の基盤となる市街地への再生・再構築を行う。あわせて、消火栓及び防火水槽を整備することにより防火対策を図る。

平田地区	平田地区は、地区内幹線道路（県道桜峠平田線）の嵩上げ整備を行いその後背地を盛土整備した住宅地にすることで安全な居住地の確保とコミュニティの再構築を図るとともに、県道北側の浸水が想定される海岸部に水産加工等業務系土地利用の集積を図る。 事業面積：22.9ha 事業期間：H24～H31 年度 総事業費： 9,679,000 千円 関連する他の復興交付金事業：災害公営住宅整備事業（県）
------	--

●復興まちづくり基本計画における該当箇所及び概要

基本目標 1	暮らしの安全と環境を重視したまちづくり 地震が発生したら高台へ逃げることを大原則に、避難路、避難場所、避難施設の整備とネットワーク化を進める。また、防災意識を維持するため、防災教育をはじめとする自助・共助のもとでの避難体制づくりを進める。
スクラム 1	生命優先の減災まちづくりの推進 壊滅的な被害を受けた防波堤・防潮堤の復旧整備を行うとともに、後背地のまちづくりと連動させながら、道路や鉄道等を活用した多重防御により、生命を優先とした減災の考え方に基づくまちづくりを目指す。
スクラム 2	住まいとコミュニティの再構築 地域コミュニティの維持・再生への配慮や高齢化の進展を前提としつつ、高台への移転や地盤のかさ上げ、浸水が想定される土地への建築規制などを組み合わせた安全な居住地の確保を推進する。
スクラム 3	主要公共施設の再配置と土地利用 多くの公共施設が被災し機能が失われたことから、それぞれの施設用地の適正な配置・活用を図る必要がある。平田地区においては、歴史性も踏まえ、復興の象徴的な取組として拠点性の向上に努める。

当面の事業概要

<平成 26 年度>

詳細設計等を行う。

<平成 27 年度>

関係機関協議等を行う。

<平成 28 年度>

消火栓の設置を行う。

<平成 29 年度>

消火栓の設置、防火水槽の設置を行う。

<平成 30 年度>

関係機関協議等を行う。

<平成 31 年度>

消火栓の設置、防火水槽の設置を行う。

東日本大震災の被害との関係

●対象地区の被災状況

地区名	浸水面積	全壊戸数	半壊戸数	死者行方不明者	最大津波水位 (痕跡値)
平田地区	18.2ha	170 戸	66 戸	20 人	10m

釜石湾に面した当地区は高さ約 10m の津波に襲われ、住宅や店舗、スーパー、水産加工工場等多くの建物が建物の多くが甚大な被害を受けた。また、岩手県水産技術センター、釜石大槌地域産業育成センターなどの研究、研修施設も被害を受けた。このため宅地整備された地区における防災性を高めるための事業である。

関連する災害復旧事業の概要

なし

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	D-17-13
事業名	都市再生区画整理事業（被災市街地復興土地区画整理事業）（平田）
交付団体	市

基幹事業との関連性

同地区で実施する区画整理事業の区域内での実施